



1月～休館日& イベントのご案内

1月

日	月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

は、休館日です

1月

8(土) 土曜シアター 14:00～
「道」(104分) ユニティ小ホール

18(火) 麦のこ(乳幼児向けよみかかせ)
11:00～おはなしコーナー

29(土) わらべ座(人形劇・よみかかせ)
14:00～おはなしコーナー

2月

6(日) とんぐりころころ(よみかかせ)
14:00～おはなしコーナー

8(火) 麦のこ(乳幼児向けよみかかせ)
11:00～おはなしコーナー

12(土) 土曜シアター 14:00～
「モロッコ」(91分) ユニティ小ホール

13(日) まほうの箱(よみかかせ)
14:00～おはなしコーナー

19(土) なのはな教室(フランクパネルシアター)
14:00～ユニティ小ホール

26(土) 極楽 とんぼ(よみかかせ)
14:00～おはなしコーナー

2月

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5		
6	8	9	10	11	12		
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28						



● 入場はすべて無料です。



1月の展示

● 一般室展示コーナー

1/4～1/30 「暮らしのイロハ」

1/4～2/7 「リスタルニック・中川音五郎

音五郎が見た明治・直方の風景画展」

● 児童室展示コーナー

1/4～2/7 「私たちの暮らし」

● 次回展示

「ぞっと、ふたに」

～司書たちの手作り雑貨屋さん～

AVコーナー

AVコーナーが2人で一緒に利用できるようになりました。1つの資料を2人で楽しめます。ぜひご利用下さい。ご利用の際はカウンターでおたずね下さい。

おすすめBook

「僕のとまりに」 菊田まりに さく
「あの空を」 E 913キ
いつもいっしょにいる2人の気持ちを描いた物語と空をとびたいヒヨスターの物語。なんたごかい温まる絵本です。

2005年新しい年が始まりました。今年も、みなさんと本の素敵な出会いのお手伝いできたいと思っています。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。



★ 先月担当司書より質問

Q 1日変身できるとしたら、本の中の誰になってみたい？

A 魔法使い

魔法で何でも簡単にできるから魔法使いがいい！

● カード更新のお知らせ

図書館のカードは登録から3年で期限が切れます。更新の手続きをお願いいたします。更新手続きはカウンターで受付けています。利用者カードと現住所の確認ができる身分証明書(健康保険証・運転免許証等)をお持ち下さい。なお、1月末で期限が切れる方は以下のとおりです。

No. 00081547

カードの期限を失う方にはお気軽に職員におたずね下さい。

来月の担当

来月の担当は初登場司書！
テーマは「トキドキ」
おたのしみ♪

直方市立図書館

〒822-0034 直方市山部 301-11

TEL(0949)25-2240 開館時間

FAX(0949)23-3902 平日10:00～19:00

ととあといけ web版 土日 10:00～17:00

http://yumenity.jp

そとおとどけ

2005. 1. vol. 21

新年第1号は「好きな作家のこの1冊!」ということで、司書たちの好きな作家を紹介します。

「氷点」「続氷点」Fミ・BFミ
三浦綾子 著

夫と長男の留守中に、3歳の長女を戸外に追いやって別の男と家にした妻。その間に長女は誘拐され殺された。夫は妻への復讐のため、犯人の子をそれとは隠して妻に育てさせる。人間の「罪」や「ゆるし」といったやや重たいテーマの作品ですが、ドラマチックなストーリーに夢中になります。

「サラタ」記念日 911.17
俵万智 著

王道ですが、私は俵万智さんが大スキ! 高校の時、短歌の授業で俵さんの「サラタ」記念日を習ってほんわかした気持ちになった事を今でも覚えています。俵さんの作品は共感できるところがたくさんあって、あたたかな気持ちになれる1冊です。

「宮沢賢治全集 5~8」B918ミ
宮沢賢治 著

どこか不思議でどこか教訓めいた文章は、いつもゆらゆらたゆたうようなゆるやかなリズムが心地よくいつのまにかびきままれてしまいます。特に短編作品がオススメです。

「永遠の途中」Fユ
唯川恵 著

いつも大人の女性に腫れ、背のびをしている自分。それなりの選択をして進んできたつもり、でももう片方の道を進んでいた。今の自分はちがってたと思う。そんな思い、人生の機微を写し出し、おすすめの1冊。彼女の作品は、いつもつらい決断をして生きる女性がか写し出されている。

「薄紅天女」YFオ
萩原規子 著

武蔵国竹芝の里で、家族と中間に愛され、又子のように育った阿高と藤太。その幸せな暮らしは阿高に宿る「ましろ」のお告げにより一変する。明かされる阿高の出生の秘密。古より続く「闇」と「輝」の戦い。そして少女・苑上との出会い。「勾玉」シリーズ三部作の中で一番のお気に入り!

「百人の王様 わがまま王」Fハ
原田泉興 著

拙みや経馬が書かれています、近くに原田さんがいるような気分になるエッセイ。ホラー・昔話風・私小説、ないジャンルで飽きない小説や戯曲。オススメは「百人の王様・わがまま王」Fハに、ポッと火を灯す魔法の言葉のお話です。

「うちにかえったカラゴ」
島田ゆかさく

かばんうりのカラゴは冬になるとうちへ帰ります。すると、お友だちが次々うちへやってきて、パーティーのほじまり、ほじまり。この本ではシリーズでおなじみのバムとワロモジいごにカラゴのうちをおとすれます。どんなパーティーなのかそうそうするだけで、楽しくなります! 島田ゆかさくさん独特の、デザインの家具たちも見逃せません。

「家守綺譚」Fナ
梨木春歩 著

梨木さんの作品はどこかに少し憂いのようなものがあるのに、ちゃんと地に足をつけて生活を営む人物が描かれていて、新作が気になる作家の1人です。なかでもおすすめはこの1冊です。仔童や河童、桜鬼が普通に存在する日常と家守の綿貫の暮らしがりを楽しんで下さい。

「六巻目の小夜子」BFオ
恩田陸 著

恩田さんの作品を読むとき、かけこみ本です。他の作品も好きですが、1冊だけと言われると、やっぱりこの本。ある学校に伝わる小夜子伝説。小夜子は3年に一度現れる。小夜子伝説をめぐる学園物語。ぜひ、読んでみて下さい。

「フロム・クリークの土手で」
(イカリス一家の物語 3) K933ワ
ローラ・イカリス・ワイルダ 著

はじめてこのシリーズの本を手にしたのは、小学校4年生の頃。いつの間にか著者の名前をスラスラ言えるようになり、気がついた時には一番大好きな本になっていました。このシリーズは著者であるローラの半生を描いた自伝的作品。ローラは私にとって永遠のあこがれです!

「大魔法使い クレストマンシー
クリスターの魔法の旅」K933ミ
ダイヤモンド・ウィン・ジョンズ 著

今、流行のハウルの原作者! 彼女の作品の中でもオススメなのが、この本。9つの命を持つ大魔法使いクレストマンシーの幼少時代の物語です。クレストマンシーシリーズは他にもあるので、ぜひぜひ読んでみて下さい。